

会議録	
名称	平成29年度3月富士見市図書館協議会
開催日時	平成30年3月10日（土）午前10時00分～12時00分
場所	中央図書館視聴覚室
出席者	<p>○図書館協議会委員 渡辺志津子委員長 小森和雄委員（職務代理者） 木村多喜雄委員 渋谷八重子委員 佐藤千枝子委員 長ヶ原美博委員 山崎美晴委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 鳥海課長 和田副課長 古川主査</p> <p>○図書館 清水中央館館長 神山マネージャー 長谷川鶴瀬西分館長 青崎ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理者 紀伊國屋書店公共図書館部 福室</p>
欠席者	関根衣都美委員 本間雄一委員 野瀬武博委員
公開・非公開	公開
次第	<p>○報告・連絡事項</p> <p><input type="checkbox"/>各館からの事業報告（中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館）</p> <p><input type="checkbox"/>「第3次子ども読書活動推進計画」について（生涯学習課）</p> <p><input type="checkbox"/>貸出延滞者に対する利用制限について（中央図書館）</p> <p><input type="checkbox"/>中央図書館新装開館日程及び記念イベントについて（生涯学習課、中央図書館）</p> <p><input type="checkbox"/>新しいレイアウトの考え方（生涯学習課、中央図書館）</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会3月定例会次第 ・各館の事業報告（中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館） ・第3次子ども読書活動推進計画（案）パブリックコメント結果 ・貸出停止の規定 ・市立中央図書館リニューアルオープン ・リニューアルオープン後の一般図書配架の考え方 ・館内配置図 ・『広報ふじみ』2017年7月号（声の広報部分コピー）

	・富士見市立図書館広報誌『さざなみだより』ほか
会議録確認	渡辺委員長
議事内容	
<p>1 委員長あいさつ 渡辺志津子委員</p> <p>2 各館からの事業報告</p> <p><中央図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき報告。特に「ビブリオバトルデモンストレーション」について説明。 <p><鶴瀬西分館></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき報告。特に入学説明会での登録用紙配布について等、学校連携について説明。その他、中央図書館休館による利用者の増加、今後の予定として、いたばしボローニャ子ども絵本館から絵本を借用し実施する「世界の絵本展示」について説明。 <p><ふじみ野分館></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき報告。特に「“ちはやふる”の世界にふれよう！百人一首ことはじめ」「ぐりとぐらのカステラを作ろう」について説明。「“ちはやふる”の世界にふれよう！」実施の際には、市長と教育長の見学があった。その他、研修等への参加について報告。 <p>【質疑応答】</p> <p><鶴瀬西分館からの報告について></p> <p>委員：映画会の作品は、どのように決めているのか。</p> <p>図書館：上映権のあるものから、季節や話題性、文学作品を中心に選んでいる。</p> <p>委員：いたばしボローニャ絵本館の絵本は、区外でも借りられるのか。</p> <p>図書館：区外でも往復の送料負担をすれば借りられる。</p> <p>委員：中央図書館、ふじみ野分館も鶴瀬西分館からいたばしボローニャ絵本館の情報を入手して、利用してもよいのではないか。また、鶴瀬西分館は、フェイスブックやツイッターを頻繁に更新しているので、図書館の活動を知るために見るとよい。</p> <p><ふじみ野分館からの報告について></p> <p>委員：行事への参加者が2ケタで安定しているとあるが、それは常連の方が新規の方か。</p> <p>図書館：映画会は常連の方、おはなし会（乳幼児）は新規の方も多い。</p>	

3 「第3次子ども読書推進計画」について

- ・生涯学習課より「第3次子ども読書推進計画」に対するパブリックコメントについて、資料に基づき説明。

【質疑応答】

委員：学校司書について。小学校と中学校では、勤務日数と勤務時間が異なるので、明記した方が良いのではないか。

生涯学習課：検討する。

委員：パブリックコメントには、図書館や学校司書という言葉が多く出てくる。だが、パブコメの公募は市のホームページに載っているが、図書館のホームページには載っていない。市民の声を聞くパブコメの回収方法としてはいかがなものか。図書館のホームページを紀伊國屋書店が管理していることが関係しているのであれば、次回から再考すべきである。今後、「本」「読書」「図書館」等に関わるパブコメについては、生涯学習課から紀伊國屋書店に図書館ホームページへの掲載を依頼すべきである。

図書館：図書館のホームページから市のパブリックコメントのページを参照できるようにリンクを貼るべきだったと考える。

委員：1月の教育基本計画の研修は、協議会委員は参加者名簿に入っていたが、図書館は入っていなかった。「教育基本計画」のもとに「子ども読書活動推進計画」があるので、できるだけ生涯学習課から指定管理者に情報開示をする必要がある。

4 貸出延滞者に対する利用制限について

- ・中央図書館より資料に基づき説明。

図書館：富士見市図書館条例施行規則の第8条に「図書館資料等を返納しないときは、一定の期間貸出しを停止することができる」と記載があるが、現在は、延滞資料があっても貸出している。これからは、返却期限日の翌日から起算して14日目から新たな貸出と予約はできないようにする。経過措置として、4月1日から周知を始め、5月8日から運用開始予定である。月に1度督促のハガキを出しているが、その運用についても検討していきたい。

【質疑応答】

委員：延滞者は、月にどれくらいか。

図書館：毎月、督促のハガキを80～90枚程度出している。

委員：分館はどうか。

図書館：現在、督促のハガキを出しているのは中央館だけである。

委員：全館合わせて不明本の数は何冊ぐらいか。

図書館：今年度の蔵書点検において、ふじみ野分館は16件、鶴瀬西分館は

34件である。中央図書館はICゲートがあるので、少ないと思われる。

委員：人気の本が不明になった場合はどう対応しているか。

図書館：予約のある本については、購入している。

5 中央図書館リニューアルオープンについて

・生涯学習課より説明

4月1日（日）10時開館に先立ち、9時15分よりオープニングイベントと寄贈絵画の除幕式を予定。式典には、市長・教育長・工事関係者等が参加予定。また、サンキュータツオ氏の講演会がある。

図書館：1日開館、2日は月曜日だが市の要請もあり臨時開館する。

委員：そのお知らせはどこかに出ているか。

図書館：まだ出ていない。

生涯学習課：『広報ふじみ』4月号に見開き2ページで特集が組まれている。

委員：新しい図書館のレイアウトの考え方について説明を。

生涯学習課：改修内容について。照明のLEDへの交換、空調設備の更新、外壁補修など実施。2月16日工事完了、28日に検査、現在は図書の移動を行っている。学習席を新設し、閲覧席を窓側に設置した。一般書架と児童書架の間にパーテーションを設置し、子どもたちの声が一般書架に響かないようにした。トイレも改修し、清潔感のあるものになっている。

図書館：配架計画について。書架は縦列に配置。本の並び方は、請求記号順に左から右、上から下に並んでいる。7類は壁面に並べ、大型の本は、下に並べた。中央館は規模に比して美術関連の資料が少なかったの
で、補充した。別置記号のHについては、朝霞を真似たものと思われるが、弊害の方が大きいので廃止とした。新たにグルメやアウトドアなどのガイドブックについては、別置記号のGとした。ビジネス、新書の別置も廃止した。

新しい図書館に新しい資料がないのはおかしい。休館中という理由で資料費が削減されているが、リニューアルオープンにむけて新しい本を購入していく。

【質疑応答】

委員：HやGとはどういう意味か。

図書館：Hはホビー、Gはガイドの頭文字である。

委員：館内に貼ってあった以前の配架図は小さくて見にくかったが、今度はどうなるか。

図書館：少なくともA3以上で、カラーになる予定。

委員：開館当初は、みなさん混乱すると思うので、何ヶ所か配架図を置いてほしい。

図書館：フロアに看板を立てる等、掲示をする予定である。

委員：本の並び方について、Z型というのを、学者でも知らない人がいる。子ども読書活動推進のこともあるので、利用者がZ型に棚を見る訓練が出来るように表示をして欲しい。

図書館：児童コーナーの配架計画について。おはなしの部屋の近くには、小さい子向けの絵本を置いた。児童コーナー入口付近には、新刊と子どもたちがよく手に取る読み物を配置した。

図書館：視聴スペースについて。今まで贅沢なスペースを取っていたが大幅に縮小した。改修している図書館の多くはそのようにしている。

6 その他

- ・中央図書館より、前回の協議会で話題になった「音訳グループかたりべ」の活動について。『声の広報』等のDAISYを試聴しながら説明。

委員：DAISYは、レベル1から3まであり、小見出し、中見出し、表紙となっている。また、スピードも5倍速まで設定でき、慣れた利用者の方は、2～3倍速で聞いている。

委員：『広報ふじみ』1冊でどれくらい時間がかかるのか。

委員：5時間くらいかかる。

委員：図書館のものは、本に忠実に再現しなくてはいけませんが、かたりべで作成するものは、利用者の方が早く情報にたどり着けるよう工夫している。

委員：利用者の方とは、どのようにコミュニケーションをとっているか。

委員：年に1度お話をする機会がある。

委員：今、利用者の方はどれくらいか。

委員：20名程いる。

委員：市は、4月にシステムが変わるそうだが、『声の広報』のページのアクセス数をカウントすることはできるか。

生涯学習課：秘書広報課の方で、毎月アクセス数を集計しているので、確認する。

委員：どのくらいのアクセス数があるか、活動の実績がわかるとよいと思う。

委員：前回の議事録にもあったPFIについて、用語の解説を。

生涯学習課：プライベート・ファイナンス・イニシアチブの略である。公共施設の設計や建設、維持管理、運営を民間企業の資金を利用して行う1つの手法。コスト削減と質の高い公共サービスを提供できる。鶴瀬西はPFI事業で運営している。

委員：そこに紀伊國屋書店が関わることはあるのか。

生涯学習課：紀伊國屋書店は、指定管理者である。PFI は鶴瀬西分館のみである。
今後、大きな建物や複合施設の場合は、この手法になるかもしれない。

委員：紀伊國屋書店はどのように関わっているのか。

生涯学習課：紀伊國屋書店は、中央図書館とふじみ野分館の運営をしている。市の方で委託のような形でお願いしている。

図書館：委託ではない。行政処分である。そこは厳密に。不正確な用語は使うべきではない。

委員：以前、生涯学習課長は、指定管理者制度は平成15年の地方自治法の一部改正により、住民サービスの向上と経費節減を目的とすると話された。平成20年と平成22年の国からの通知で、指定管理者制度の運用についての留意事項等が書かれている。コスト削減という意味ではなく、民間活力を使うということであると考える。

全国では、指定管理やPFIから直営に戻しているところもある。また、指定管理やPFIでも、直営よりもお金がかかっているところもある。市がやりたいことがあるときには、お金と政策がつきものである。貸出冊数も伸び、PFIでも指定管理でもさまざまな企画をしているが、人手もコストもかかっている。

来年度は生涯学習に関わる法規等、変更が多いので確認を。

委員：情報提供として、富士見市、ふじみ野市、三芳町の地域情報を発信する「ちいきのラジオ」が開局したので、パンフレットを配布します。

委員：家族で楽しむことができるものなので、図書館が関わっていくのも良いのでは。

○次回の開催日時について

次回 平成30年5月12日（土） 10:00～

中央図書館レセプションルームにて開催予定。

7 閉会（渡辺委員長）